第２８回　高松市新型コロナウイルス対策本部会議

日　時　　令和３年８月３日（火）
　　午後４時から
場　所　　危機管理センター３階　３０１会議室

次　　第

１　開　会

２　議　題

（１）　香川県における今後の対応について

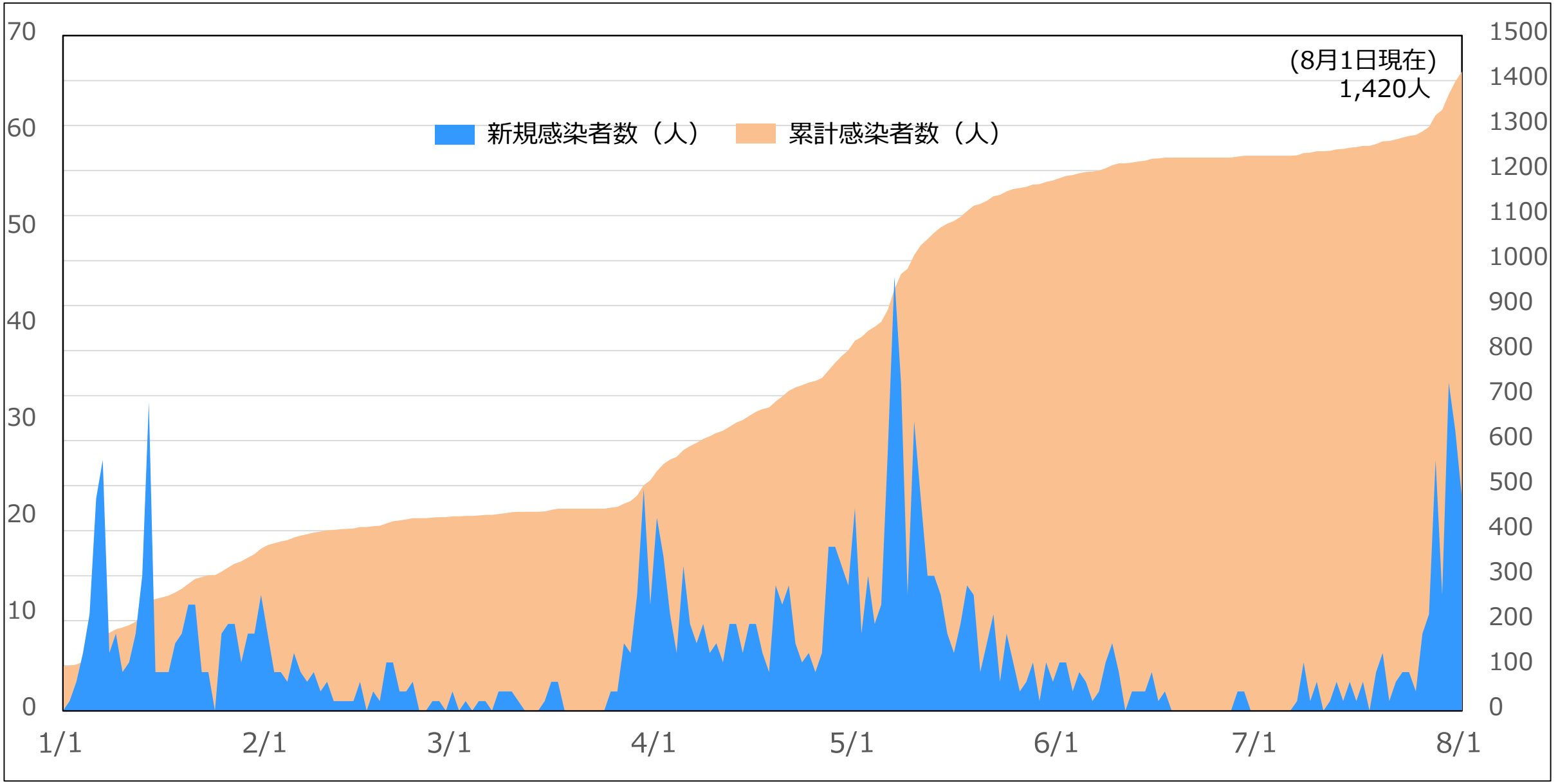
（２）　市内における感染者の状況等について

（３）　市有施設の対応について

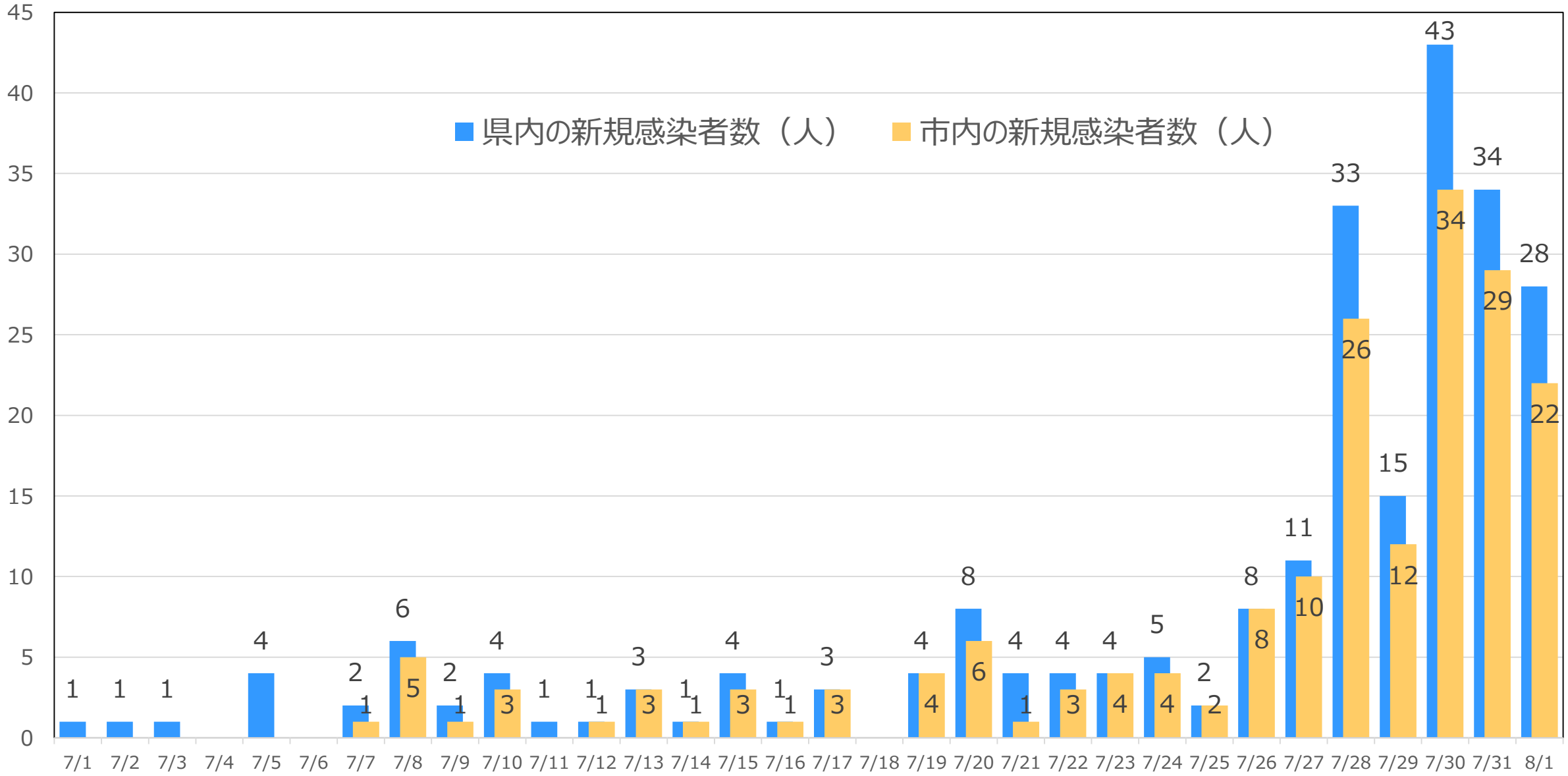
（４）　学校における対応について

３　閉　会

市内における感染者の状況（2021.1.1～2021.8.1）



県内・市内における新規感染者数の状況（2021.7.1～2021.8.1）



高松市の現状

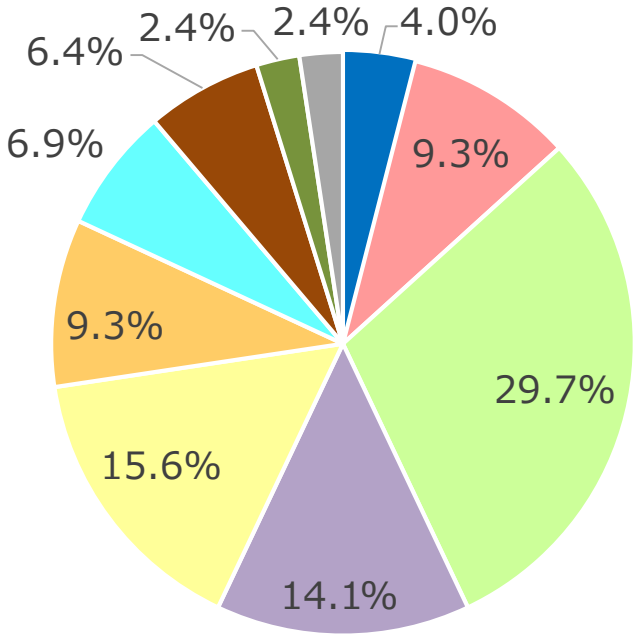
直近1週間の累積新規感染者数	先週１週間の累積新規感染者数	8月 累積新規感染者数（8月1日現在）	7月 累積新規感染者数
141人	24人	22人	165人

指　標	8月1日現在
①直近１週間の累積新規感染者数（対人口10万人）	10万人当たり **33.9人** <直近1週間(7/26～8/1)　141人>
②感染経路不明者数の割合	44.7% <①の人のうち感染経路不明は63人>
③直近１週間と先週１週間の比較	5.9 <先週１週間(7/19～7/25)　24人>

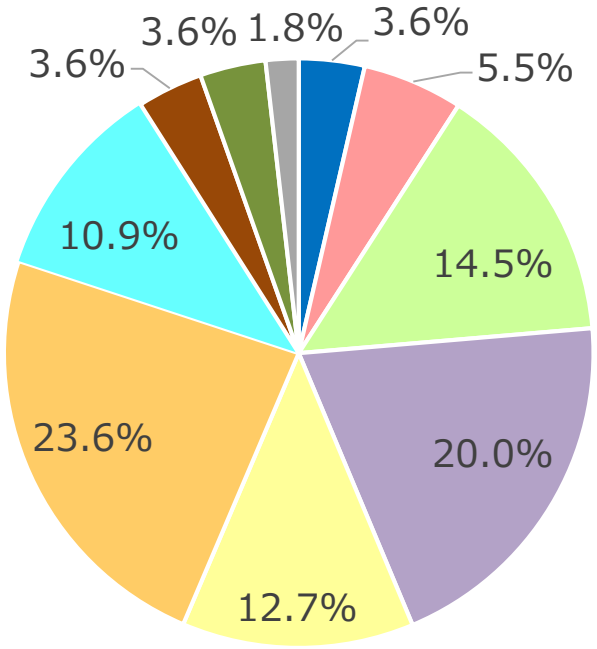
（参考）国文分科会提言（R3.4.15)における指標及び目安	
ステージⅢ	ステージⅣ
１週間10万人当たり １５人以上	１週間10万人当たり ２５人以上
５０%以上	
－	

市内における感染者の年代別割合の状況（2021.5月、2021.6月、2021.7月）

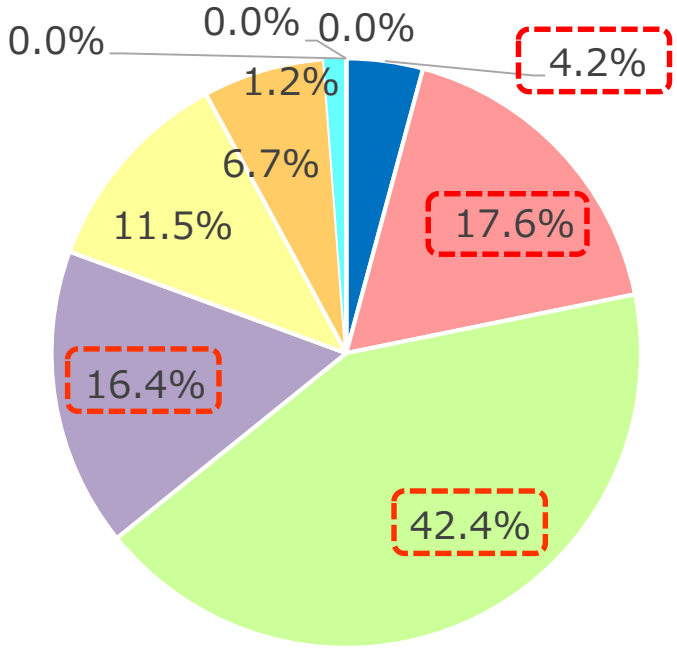
5月
累積新規感染者数　３７７人



6月
累積新規感染者数　５５人



7月
累積新規感染者数　１６５人



１０歳未満　１０代　２０代　３０代　４０代　５０代　６０代　７０代　８０代　９０歳以上

	10歳未満	１０代	２０代	３０代	４０代	５０代	６０代	７０代	８０代	９０歳以上	合計（人）
5月	15	35	112	53	59	35	26	24	9	9	**377**
6月	2	3	8	11	7	13	6	2	2	1	**55**
7月	7	29	70	27	19	11	2	0	0	0	**165**

高松市における新型コロナワクチン接種の状況について

1　接種状況（７月３１日現在）

		全　体		うち高齢者	
		回数	接種率	回数	接種率
合　計		273,245回	–	205,799回	–
	うち１回以上接種者	149,492人	35.0%	108,249人	91.7%
	うち２回接種完了者	123,753人	29.0%	97,550人	82.7%

※　総接種回数は、一般接種（高齢者含む）と医療従事者等の接種回数の合計

総人口427,131人、うち高齢者118,011人（令和2年1月1日住民基本台帳から）

2　予約状況（８月２日現在）

本市予約サイト及びコールセンターからの個別・集団接種の予約枠は、全て埋まっている。

個別医療機関による電話予約枠は、８月は、ほぼ全て埋まっている。

９月については、約900人程度空きがある（13医療機関）。

集団接種年齢別予約状況

60歳代以上	949人	11.8%
50歳代	2,356人	29.4%
40歳代	1,989人	24.9%
30歳代	1,160人	14.5%
20歳代	701人	8.8%
10歳代	847人	10.6%

3　今後の対応（今週中）

キャンセル待ちオンライン登録受付、予約の空き状況公開

≪議題３≫

市有施設の対応について

令和３年８月３日
財　　政　　局

１　主旨等

香川県においては、令和３年８月２日(月)、香川県対処方針に基づき、同月３日(火)から３１日(火)までの間、「感染拡大防止集中対策期」への移行を発表しました。

これに伴い、香川県は、特に県内外から多くの集客が見込まれる県有施設について、上記対策期間中の土曜日・日曜日・祝日を、原則、休館・休園とするとともに、県有施設等について、開館する場合、適切な感染防止対策の一層の徹底を図ることとしているところです。

つきましては、本市におきましても、市有施設の貸館等の実施に当たり、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、次のとおり対応するものです。

２　本市の対応

施　設　名	対　応　内　容	期　間
史跡高松城跡玉藻公園	期間中の土曜日・日曜日・祝日を休園とする（既に予約済の披雲閣の利用については、新型コロナウイルス感染防止対策を十分に講じた上で利用を可とする。）。	８月４日（水）～３１日（火）
たかまつミライエ （高松市こども未来館） （高松市男女共同参画センター） （高松市平和記念館） （高松市夢みらい図書館）	期間中の土曜日・日曜日・祝日を休館とする。 また、期間中の土曜日・日曜日・祝日について、イベント開催を中止又は延期するとともに、多目的室の新規予約受付を停止する。	
高松市美術館	期間中の土曜日・日曜日・祝日を休館とする（既に予約済の講座室の利用については、新型コロナウイルス感染防止対策を十分に講じた上で利用を可とする。）。	
高松市塩江美術館	期間中の土曜日・日曜日・祝日を休館とする。	
高松市歴史資料館 高松市菊池寛記念館	期間中の土曜日・日曜日・祝日を休館とする。 （中央図書館は開館）	
高松市石の民俗資料館	期間中の土曜日・日曜日・祝日を休館とする。	
高松市香南歴史民俗郷土館		
高松市讃岐国分寺跡資料館		

上記以外の市有施設の対応については、県の類似施設の対応等を踏まえ、速やかに検討の上、決定いたします。

≪議題４≫

学校における対応について

学校における感染拡大防止の徹底等を図るため、「感染拡大防止集中対策期」（８月３日～３１日）の間、下記のとおり対応する旨を市立学校長に通知する。

記

１　感染症対策について

・　夏季休業中、登校日や出勤日だけでなく、風邪症状等がなかったか毎日の健康観察を家庭で行うよう、再度メール等で周知するとともに、本人やその家族に症状がある場合は、登校や出勤を控えるようにすること。

・　習い事やスポーツ教室等で、人との接触がある活動などへの参加については、習い事先やスポーツ教室等の具体的な感染予防対策を、保護者が確認するよう周知すること。

２　部活動について

（１）　実施の可否について

	区分	実施の可否
ア	自校のみの練習	○
イ	県内の学校との練習試合を含めた交流・合同練習等	
ウ	県内大会等への参加	
エ	全国または四国ブロックの競技団体、学校体育連盟等が主催する大会等への参加	
オ	県内及び県外での宿泊を伴う活動（上記エを除く）	×（※）
カ	県外での練習試合等への参加、県外からの選手・チーム・指導者等の招へい、県外の卒業生等の練習参加	

（※）オ及びカについては、全国大会やブロック大会等に出場する学校の部に限り、県外での練習試合等を認めてきたところであるが、既に計画済みのものを除き、実施しないこととする。

（２）　実施上の留意点について

・　顧問による活動開始前の健康観察を徹底し、少しでも体調に不安のある生徒については、部活動に参加させないことを徹底すること。
・　マスクの着用については、熱中症等健康被害の防止のため、最大限の注意喚起を行うこと。
・　部活ガイドラインを遵守し、より短時間で効果的な活動とすること。
・　部活動については、顧問のみで実施を決定するのではなく、校長が実施計画、大会要項等を十分に確認した上で判断し、決定すること。
・　参加については、本人及び保護者の意思を確認するとともに、それを尊重すること。また、活動の参加の意思を確認する場合は、一般的に不参加を表明しにくいことを踏まえ、意思表示がしやすい雰囲気づくりに努めること。
・　主催団体が示す感染予防対策ガイドラインや本市が示している通知を踏まえ、感染予防を徹底した上で参加すること。
・　活動前後における交流会や懇親会等への参加については、厳に慎むこと。
・　感染のリスクが高い活動については、慎重に検討を行うこと。
・　昼食時など、食事の前後での手洗いを徹底し、一方向を向いて食事をとる、食事中は会話をしないなど、飛沫を飛ばさない対策を徹底すること。
・　用具等については、可能な限り共有を避けること。
・　部室等の利用については、１５分以内の短時間の利用とし、人との距離が最低１メートル確保できるようにし、一斉に利用しないこと。

市民の皆様へのメッセージ

～若い世代を中心に新規感染者が急増していることを受けて～

令和３年８月３日

本市では、本格的な第５波と言われる感染拡大が起こっており、若い世代を中心に、新型コロナウイルスの新規感染者が急増しています。特に、７月における新規感染者のうち、その約８割が３０歳代までの若い世代の感染となっています。

このような状況が続けば、感染が更に拡大し、本市でも、近いうちに緊急事態に陥ることも予想されかねない状況です。

人の動きが活発化する夏休みやお盆の期間中、現在が危機的状況であることを認識するとともに、次の点に御留意いただき、今年の夏は、いつもとは違う過ごし方をお願いします。

○　不要不急の外出については、県内外を問わず、慎重に
　特に、「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」の対象区域との不要不急の往来、帰省や旅行及びこれに伴う会食は、自粛

○　「３つの密」（密閉、密集、密接）に該当する場所に行くことは、徹底して避けて。「１つの密」も回避

○　「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗いの励行」など、基本的な感染防止対策を、これまで以上に徹底

本市では、新型コロナワクチンの接種を、順次進めているところです。本年７月末現在、６５歳以上の高齢者のうち、９１．７％の方が１回目の接種を、また、８２．７％の方が２回目の接種を終えています。

これらも要因となり、７月は、７０歳代以上の方の感染は確認されておらず、ワクチン接種が、感染を抑止する強力な手段となっていることがうかがえます。

副反応を心配され、ワクチン接種を躊躇されている方もおられると思いますが、県内でも広がりつつあるデルタ株は、極めて感染力が高く、若い世代の方でも、重症化を引き起こすおそれがあります。

このことから、本市では、若い世代の皆様にも、ワクチン供給があれば、１日でも早く、接種を受けていただけるよう、鋭意、準備を進めているところです。

不自由を強いられる生活が続きますが、御自身や御家族、大切な方の命と健康を守るため、これまで以上の感染防止対策の徹底に御協力いただきますとともに、積極的なワクチン接種をお願いいたします。

高松市長　大西秀人